

令和元年度 宝木小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

(1) 基本目標

心身ともに健康で、自ら学ぶ意欲と社会の変化に主体的に対応できる判断力、新しい時代を拓く開拓者精神^{フロンティアスピリット}に基づく実践力をもち、夢に向かって心豊かにたくましく生きる児童を育成する。

(2) 具体目標（具体的な児童生徒像など）

たくましい子（心身共に健康で、強い意志をもって粘り強く行動する）

よく学ぶ子（基礎学力を確実に身に付け、自ら考え主体的に学習する）

やさしい子（互いを尊重し、思いやる心を大切にして他とかかわり、ルールやマナーを守り、適切に判断・行動する）

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

やさしさ 勇気 喜び そして 夢

学校のシンボルとなっているメタセコイアの木がある。絶滅したと考えられていたこの木は、中国で発見され現在に至ることから、「生きている化石」とも言われる。メタセコイアには壮大な過去があり、そして今がある。そして、未来へと、その生命を繋いでいく。力強い生命力（生きる力）に、宝木小の子どもたちの成長を重ね合わせたい。

夏には木陰をつくり、やさしくそっと子どもたちを包むメタセコイア。その姿のように、子どもたちの心に「やさしさ」を育てたい。前に進もうと努力するときは、力強く根を張るメタセコイアの「勇気」を感じさせたい。メタセコイアの前で、共に遊ぶときに広がる笑顔と喜び、日々の学習や活動での、「できた喜び」「分かった喜び」「伸びた喜び」を大切にしたい。そして、メタセコイアが大空に向かってぐんぐん伸びる姿に、未来への「夢」をえがく子どもたちに育つことを願いたい。

メタセコイアが教えてくれる「やさしさ 勇気 喜び 夢」、それは、メタセコイアと共に成長してほしい宝木小の子どもたちの姿であり、本校教育活動の理念である。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

○(1) 子どもにとって、わくわくする楽しい学校

・アプローチⅠ：授業で勝負！ 学力向上を目指した授業づくり

・アプローチⅡ：Ⅱ：認め励まし、教え導く！ 規律と活気、思いやりのある学級づくり

○(2) 保護者にとって、安心して子どもを通わせられる学校

・アプローチⅢ：保護者とスクラム！ 子どもたちの健全な成長を目指す協働体制づくり

○(3) 地域にとって、信頼できる開かれた学校

・アプローチⅣ：地域の学校として！ 地域の皆さんとの強いきずなづくり

○(4) 教職員にとって、自分の力を発揮できる、働きがいのある学校

・アプローチⅤ：先生もいきいきと！ 教職員一人一人が活躍する学校づくり

[陽西地域学校園教育ビジョン]

自己の「よさ」を活かし、粘り強く頑張る子どもの育成 ―社会的自立を目指すキャリア教育を通して―

4 教育課程編成の方針

(1) 日本国憲法、教育基本法、学校教育法、小学校学習指導要領等の教育関係諸法令の示すところに従うとともに、栃木県教育委員会、宇都宮市教育委員会の方針等を踏まえて教育課程を編成する。また、宇都宮市の施策である小中一貫教育を、有効かつ持続可能な方法を探りながら確実に実施する。

(2) 地域や学校の実態及び児童の心身の発達の段階や特性を考慮しつつ、児童の人間として調和のとれた育成を目指して、確かな学力、豊かな心、健やかな体のバランスを重視した教育課程を編成する。

(3) 本年度の本校の教育目標、学校経営の方針、指導の重点及び具体策、学校課題等の具現化を図るとともに、地域社会や保護者の実態を考慮して教育課程を編成する。

(4) 「これからの教育課程の理念」を踏まえ、「社会に開かれた教育課程」編成のため、カリキュラムマネジメントの視点から一貫性・相互関連性のある教育課程・各種年間指導計画を作成し教育活動を展開する。

①各教科の教育内容を相互の関係で捉え、教科横断的な視点で内容を組織的に配列する。

②子どもたちの姿や地域の現状等に基づき、教育課程をPDCAサイクルで実施改善する。

③教育内容と、地域等の外部も含めた人的・物的な資源を効果的に組み合わせる。

5 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【学 校 運 営】
・「やさしさ 勇気 喜び そして 夢」を軸とした特色ある教育活動の推進
【学 習 指 導】
・学年や個の実態に応じた実効的な取り組みの学校全体での実践。
○校内研修サポート事業と連携した新学習指導要領を見据えた授業研究会による授業力向上。
・考えを書く、まとめるなど多様な活動を通した書く力の向上。
・学力調査等を活用し、学習に係る課題と要因をはあくした上での共通実践の工夫。
・「通常学級での特別支援教育」の視点に立つ多様性への対応。
【児 童 生 徒 指 導】
○生命と人権の尊重を軸とした、いじめを許さない態度や実践力の育成（いじめの運動と保護者への啓発）
・体験活動などの充実による、宮っ子心の教育の推進
○基本的生活習慣の形成（「児童のやくそく」の徹底）
【健康（体力・保健・食・安全）】
○サーキットや周回走、1分間運動の実施と市ミニマムの達成に向けた段階的な指導。
・運動委員会との連携による各種大会、外遊びの取り組み。
・喫煙防止、薬物乱用防止、がん予防教室、救命手当教室等の出前授業の実施。
○9年間の段階を踏んだお弁当の日の取り組みと食育や・安全な給食指導の充実。
○早寝早起き朝ごはんの啓発および養護教諭との連携した取り組み。
・家庭や地域と連携した登下校の見守りと、安全な学校生活や危機対応訓練、生きる力をはぐくむ安全教育の充実。

6 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項 目	評価項目	主な具体的な取組	方 向 性	評 価
目 指	A 1 児童は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 児童肯定的回答 85%以上 保護者肯定回答 85%以上	授業では、教材やワークシート、展開を工夫することで、児童がめあてに沿って進んで学習に取り組めるようにしていく。「学び合い」や「振り返り活動」を効果的に取り入れることで、児童が考えたり話したりする機会を確保し、主体的に学ぶ態度を育成する	B	【達成状況】 【次年度の方針】
	A 2 児童は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】 児童肯定的回答 85%以上 保護者肯定回答 85%以上	学級経営の中で、毎日生活を共にする級友同志が互いに認め合い、相手を尊重し、思いやりの心を醸成できるような場や時間を設定する。 縦割り班活動班や児童会活動、行事などを通して、お世話になった人への感謝の気持ちや、お互いの良いところを認め合う場、異年齢交流の場を設定する。	B	【達成状況】 【次年度の方針】
	A 3 児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】 児童肯定的回答 85%以上 保護者肯定回答 85%以上	きまりの徹底については、学校全体、全員指導の体制で取り組んでいく。教職員自らが適切な言葉づかいを心がけ、率先垂範することで校内の言語環境を整えていく。	B	【達成状況】 【次年度の方針】

す 児 童 の 姿	A 4 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 児童肯定的回答 85%以上 地域肯定回答 85%以上	児童会中心に<u>児童の自発的なあいさつを促す運動</u>をする。教職員が率先してあいさつをするとともに、称賛し児童の意欲を高める。また、家庭と連携した取組を継続する。<u>陽西地区地域学校園であいさつ運動がさらに活発に行われるようにしていく。</u>	A	【達成状況】 【次年度の方針】
	A 5 児童は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】 児童肯定的回答 85%以上 保護者肯定回答 85%以上	各種教育の基本年間計画に沿って目標を設定しあきらめずに取り組む態度を育成する。児童指導においては月2回の生活目標の検討会を設定して重点的に指導し、継続指導する。	B	【達成状況】 【次年度の方針】
	A 6 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 児童肯定的回答 85%以上 保護者肯定回答 85%以上	<u>鉄棒検定カードを児童の実態に合った内容・形式のものに修正し、実施すること</u>で、運動への意欲を高め、運動習慣の定着を図る。昼休みの外遊びを励行し、運動時間の確保、運動習慣の定着を図る。 <u>担任と学校栄養士、地域生産者が連携し、給食時や学級活動の時間を活用して児童の「食」に関する意識を高める。</u> 食の楽しさを体験したり、味覚を育てたりできる献立や食材、食べ方を工夫するとともに、ホームページや各種たよりで給食の様子を保護者に伝え、家庭と連携して偏食が少なくなるよう児童を励ましていく。	B	【達成状況】 【次年度の方針】
	A 7 児童は、夢や目標をもって、社会に貢献できるよう努力している。 【数値指標】 児童肯定的回答 85%以上 保護者肯定回答 85%以上	<u>キャリア教育の推進により夢や目標をもって社会に貢献する人に成長しようとする意欲を育てる。</u>	B	【達成状況】 【次年度の方針】
	A 8 児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】 児童肯定的回答 85%以上 教職員肯定回答 85%以上	打ち合わせを綿密に行うことでALTとの連携を充実させ、英語に親しみ進んでコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。	A	【達成状況】 【次年度の方針】
	A 9 児童は、宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】 児童肯定的回答 85%以上 教職員肯定回答 85%以上	社会科や総合的な学習、地域行事への参加等を通して、宇都宮の良さに視点をあてた指導を取り入れる。	B	【達成状況】 【次年度の方針】

	A10 児童は、I C T機器や図書等を学習に活用している。 【数値指標】 児童肯定的回答 85%以上 教職員肯定回答 85%以上	タブレットの活用、図書の充実により学習への活用を促すとともに、出前授業等を活用し、系統的な情報モラル教育の充実を図る。	B	【達成状況】 【次年度の方針】
	A11 児童は、高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている。 【数値指標】 児童肯定的回答 85%以上 教職員肯定回答 85%以上	地域のボランティアとの交流や学校行事などを通して、<u>お世話になった人への感謝の気持ちや、いたわりの心を育てる。</u>	B	【達成状況】 【次年度の方針】
	A12 児童は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。 【数値指標】 児童肯定的回答 85%以上 教職員肯定回答 85%以上	水や電気などのエネルギーを大切にすること及び環境問題、防災等の「持続可能な社会」について関心をもたせるような指導を教科等の指導の中に取り入れる。	B	【達成状況】 【次年度の方針】
	B1 児童は自ら考えたり、友達と話し合ったりしながら問題を追究しようとしている 【数値指標】 児童肯定的回答 85%以上 保護者肯定回答 85%以上	<u>授業で全員が自分の考えをもつ場を意図的に設定し、考える習慣とスキルを身に付けるとともに、自分の考えをノートに書くことで表現力も育成していく。</u> <u>ペア学習やグループ学習を意図的に設け、共に学ぶよさが実感できるようにする。</u>	B	【達成状況】 【次年度の方針】
	A13 教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 児童肯定的回答 85%以上 保護者肯定回答 85%以上	適応部会に全校から集まる課題に対して、校内支援委員会を有効に機能させ個に応じた適切な支援策が講じられるようにする。	B	【達成状況】 【次年度の方針】
目 指 す 学 校 の 姿	A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 児童肯定的回答 85%以上 保護者肯定回答 85%以上	<u>いじめ防止の基本理念に基づき、教育活動全体を通して思いやりや助け合いの心を育ててく。</u><u>いじめゼロ集会の開催に加え、今年度から児童指導だよりの発行を行っているので、次年度以降も引き続き、学校の状況や児童に実態に目を向けたものにも取り組んでいく。</u>	A	【達成状況】 【次年度の方針】
	A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】 児童肯定的回答 85%以上 保護者肯定回答 85%以上	<u>居がいのある受容的な学級づくりに努めるとともに、配慮の必要な児童の対応にチームであたり、課題の早期発見早期対応ができるようにする。</u>	A	【達成状況】 【次年度の方針】

A16 教職員は、外国人児童生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 児童肯定的回答 85%以上 保護者肯定回答 85%以上	日本語指導のスタッフと連携を密に取りながら、必要に応じて外部機関の協力を要請するなどして言葉、文化の壁を超えた適切な支援をする。	B	【達成状況】 【次年度の方針】
A17 学校は、活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である。 【数値指標】 児童肯定的回答 85%以上 保護者肯定回答 85%以上	活気ある学校づくりを推進できるよう、学習活動や行事などの活動のめあてを明確にして、児童の主體的な活動を促す。教職員も互いを尊重しながらチームでの教育活動を推進する。	A	【達成状況】 【次年度の方針】
A18 教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 児童肯定的回答 85%以上 保護者肯定回答 85%以上	授業研究会や「一人一授業」を継続実施し、自分の授業を見直し授業を見る目を鍛えることで教師の授業力を向上させる。習熟度別学習の実施や教材を充実させることで、きめ細かな指導を推進するとともに、<u>児童の思考や理解に寄り添った支援を実施していく。</u>	B	【達成状況】 【次年度の方針】
A19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】 児童肯定的回答 85%以上 保護者肯定回答 85%以上	学校組織の中で機能的に専門性を発揮していくために、職員一人一人が自分や同僚の職種や役割をよく理解できるよう努めていく。互いに尊重し合いながら組織の中で責任を果たすことができるよう、業務の明確化と整理を図っていくことで、チームワーク良く教育活動を推進し学校力を向上させていく	B	【達成状況】 【次年度の方針】
A20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】 児童肯定的回答 85%以上 保護者肯定回答 85%以上	ゆとりある日課の中で、子どもと共に過ごす時間の確保をさらに工夫するとともに、事務や会議等の効率化や業務の見直しを図ることで働き方改革を推進する。	A	【達成状況】 【次年度の方針】
A21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 児童肯定的回答 85%以上 保護者肯定回答 85%以上	<u>乗り入れ授業や生徒指導連絡会等の小中学校職員の交流を深めるとともに、キャリア教育を中心に据えたテーマに迫っていく。地域学校園における児童の実態から各部会における目標を設定し、実践することで、各部会活動の充実を図る。また、全体研修会や教科部会も効果的運営に努める。</u>	B	【達成状況】 【次年度の方針】

A22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。 【数値指標】 児童肯定的回答 85%以上 地域肯定回答 85%以上	魅力ある学校づくり地域協議会やPTA、地域社会との連携をさらに推進し、社会に開かれた教育課程の実現に努める。	B	【達成状況】 【次年度の方針】
A23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい児童の育成に取り組んでいる。 【数値指標】 児童肯定的回答 85%以上 保護者肯定回答 85%以上	「外部との連携を図った教育活動計画一覧」および「地域連携事業計画一覧」に沿って、カリキュラムマネジメントを進め、連携事業を推進する。	B	【達成状況】 【次年度の方針】
A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】 児童肯定的回答 85%以上 保護者肯定回答 85%以上	清潔にする意義や清掃の仕方を理解させ、清掃活動に進んで取り組む児童を育てることに努める。きめ細やかな清掃指導を行うため、掃除場所のローテーションを揃え、オリエンテーションの時間を設ける。 さらに安全点検と修繕の適切な実施により安全な環境づくりに努める。	B	【達成状況】 【次年度の方針】
A25 学校は、学習に必要なＩＣＴ機器や図書等を整えている。 【数値指標】 児童肯定的回答 85%以上 保護者肯定回答 85%以上	予算の有効な配分により、ＩＣＴ機器や図書等の整備を推進するとともに、活用されやすい環境づくりに努める。	B	【達成状況】 【次年度の方針】
B2教職員は、児童指導上の課題についてチームで情報を共有しながら複数の目で、児童一人一人の良さを見取り、協力して解決に努めている。 【数値指標】 児童肯定的回答 85%以上 保護者肯定回答 85%以上	毎週の児童指導に関する打ち合わせや学年会、学校生活適応支援部会（適応部会）等で確実な情報の共有を行い、学年主任や児童指導担当者等のチームリーダーと協力して課題の解決に努める。	B	【達成状況】 【次年度の方針】

本 校 の 特 色 ・ 課 題 等	B3 児童像実現のための、 本校宝木の子プロジェクト（やさしさ・勇 気・喜び・夢）が主体 的・積極的に推進され ている。 【数値指標】 児童肯定的回答 85%以上 保護者肯定回答 85%以上	宝木の子プロジェクトの教育活動の 重点的活動を絞り込み、研修サポート事 業の継続や頑張る学校プロジェクトの 活用を推進し、さらに特色ある活動の改 善・充実を図る。また、学校の取組につ いてさらに保護者に情報の発信をして いく。	B	【達成状況】 【次年度の方針】
---	--	---	---	------------------------

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

7 学校関係者評価

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

